

近畿地方整備局

配布日時 平成15年3月4日20時

資 料 配 布

件 名

近畿地方整備局事業評価監視委員会の
議事録及び会議資料の公表について

平成14年度 第3回
開催日：3月4日（火）

取 扱 い

配布場所

近畿建設記者クラブ
大手前記者クラブ

問合わせ先

近畿地方整備局 TEL 06-6942-1141（代表）

委員会の
審議内容

企画部建設専門官 野口 隆 （内線3156）
06-6942-4090（夜間直通）

道路関係の
会議資料

道路部道路計画第一課長 山田 哲也（内線4211）
06-6941-7435（夜間直通）

官庁営繕関係
の会議資料

営繕部計画課長 秋月 聡二郎（内線5151）
06-6944-0004（夜間直通）

近畿地方整備局事業評価監視委員会の議事録
及び会議資料の公表について

平成15年3月4日に開催しました近畿地方整備局事業評価監視委員会（平成14年度第3回）の議事録及び会議資料について、別添資料のとおりお知らせします。

別添資料内訳

○議事録、出席者名簿

○近畿地方整備局事業評価監視委員会資料

議事次第

資料No. 1	事業評価対象事業の位置図及び一覧表
資料No. 2	一般国道478号丹波綾部道路
資料No. 3	一般国道26号第二阪和国道
資料No. 4	一般国道26号和歌山北バイパス
資料No. 5	一般国道165号大和高田バイパス
資料No. 6	一般国道1号第二京阪道路
資料No. 7	一般国道161号湖北バイパス
資料No. 8	一般国道8号米原バイパス
資料No. 9	一般国道24号大久保田原交差点改良
資料No. 10	橋本地方合同庁舎

※議事録はホームページに3月5日に掲載予定
(<http://www.kkr.mlit.go.jp/scripts/kisha-uproad/index.pl>)

近畿地方整備局事業評価監視委員会（平成14年度第3回） 議 事 録

1. 日 時 平成15年3月4日（火） 13:00～18:00

2. 場 所 ホテルモントレ大阪

3. 出席者

○ 委 員 吉川 和広 委員長、
池淵 周一 委員、黒田 勝彦 委員、辻 武司 委員、端 信行 委員
堀切 民喜 委員、安永 正昭 委員
（林 宜嗣 委員、榎村 久子 委員は欠席）
専門委員（第二京阪道路審議のみ）：中村 貢 委員、松波 正壽 委員

○ 事務局 近畿地方整備局長、副局長、企画部長、道路部長、営繕部長ほか
（第二京阪道路審議のみ）日本道路公団企画部長ほか

4. 議 事

1) 開会

・近畿地方整備局長挨拶

2) 道路事業再評価の審議

・審議の結果、一般国道478号丹波綾部道路、一般国道26号第二阪和国道、一般国道26号和歌山北バイパス、一般国道165号大和高田バイパス、一般国道1号第二京阪道路、一般国道161号湖北バイパス、一般国道8号米原バイパスについては、本委員会に提出された資料、説明の範囲において、概ね適切に進められており、対応方針のとおり、事業を継続することによりと判断される。

ただし、事業の今後の実施に当たっては、以下の点に留意すべき。

（個別路線）

①和歌山北バイパスについては、暫定供用時の交通安全対策についても十分留意すること

（全体）

①次回以降、費用便益比算定の際の仮定条件としている交通量等の推移や予測データ、供用時期などについて分かりやすく示すこと。また交通量予測の前提となるネットワークの全体像についても、府県単位程度で示すこと。

②排気ガスの削減の効果について経済的に評価する以外に、分かりやすく評価・説明する手法を検討すること。

なお、環境への影響や景観、自然災害に対するリダンタンシーなどの評価についても、費用便益による評価だけでなく、他の評価項目も入れて、これらを基に委員会で総合的に判断すべきと考える。

③推進中の事業については、出来るだけ早く事業展開を図って、速やかな効果発現を図ること。

④今後は事業実施のテンポや効率を上げるなどのコスト構造改革を推進すること

ととしており、事業評価監視委員会においても新たな視点を取り入れた評価を行うことが重要なことから、本委員会の役割・位置づけについても本省とも協議のうえ検討を行うこと。

3) 道路事業・官庁営繕事業事後評価の審議（試行）

・ 一般国道24号大久保田原交差点改良、橋本地方合同庁舎は、本委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に行われており、評価結果及び改善措置等（原案）のとおりで良いと判断される。

4) その他

・ 前回（第2回）の委員会で、委員から指摘のあった埋蔵文化財調査、公図混乱に関する工期短縮について説明が行われた。

以上

近畿地方整備局事業評価監視委員会
(平成14年度第3回)出席者名簿

事業評価監視委員会委員

(委員長)		
吉川和広	京都大学名誉教授	
(委員)		
池淵周一	京都大学防災研究所教授	
黒田勝彦	神戸大学工学部教授	
辻武司	淀屋橋合同法律事務所 弁護士	
端信行	京都橘女子大学文化政策学部教授	
堀切民喜	社団法人関西経済連合会常任理事	
安永正昭	神戸大学法学部教授	
(欠席委員)		
林宜嗣	関西学院大学経済学部長	
榎村久子	京都女子大学現代社会学部教授	
(専門委員)		
中村貢	東京大学名誉教授	
松波正壽	日本自動車連盟専務理事	

事務局

近畿地方整備局	局 長	谷 口 博 昭
	副 局 長	笥 隆 夫
	副 局 長	山 田 勉
	総 務 部 長	高 田 順 一
	企 画 部 長	佐 野 正 道
	建 政 部 長	菱 田 一
	河 川 部 長	坪 香 伸
	道 路 部 長	松 下 敏 郎
	港 湾 空 港 部 長	松 浦 壽 彦
	営 繕 部 長	藤 田 伊 織
	用 地 部 長	幾 度 明
	地方事業評価管理官	栗 城 稔
日本道路公団	企 画 部 長	吉 川 良 一
	関 西 支 社 長	藤 下 久

近畿地方整備局事業評価監視委員会（平成14年度第3回）

日 時：平成15年3月4日（火）13:00～18:00

場 所：ホテルモントレ大阪 7階「パルフィ」

議 事 次 第

1. 開 会

2. あいさつ（近畿地方整備局長）

3. 事業評価監視委員会審議

1) 道路事業再評価の審議

- 一般国道478号丹波綾部道路
- 一般国道26号第二阪和国道
- 一般国道26号和歌山北バイパス
- 一般国道165号大和高田バイパス
- 一般国道1号第二京阪道路
- 一般国道161号湖北バイパス
- 一般国道8号米原バイパス

2) 道路事業事後評価の審議

- 一般国道24号大久保田原交差点改良

3) 官庁営繕事業事後評価の審議

- 橋本地方合同庁舎

4. その他

5. 閉 会

NO. 1

近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(平成14年度第3回)

事業評価対象事業の 位置図及び一覧表

平成15年3月4日

国土交通省 近畿地方整備局

事業評価対象事業一覧

○再評価

道路事業

No.	路線番号	事業名	府県市名	今回審議箇所
高規格幹線道路				
1	478	丹波綾部道路	京都府	○
地域高規格道路				
2	1	水口道路	滋賀県	
3	1	第二京阪道路(京都 南道路大阪北道路)	京都府、大阪府	○
4	2	神戸西バイパス	神戸市	
5	26	第二阪和国道	大阪府	○
6	26	和歌山北バイパス	和歌山県	○
7	161	湖北バイパス	滋賀県	○
8	165	大和高田バイパス	奈良県	○
一般改築				
9	1	桜宮拡幅	大阪市	
10	8	米原バイパス	滋賀県	○
11	9	福知山道路	京都府	
12	175	平野拡幅	神戸市	

○事後評価

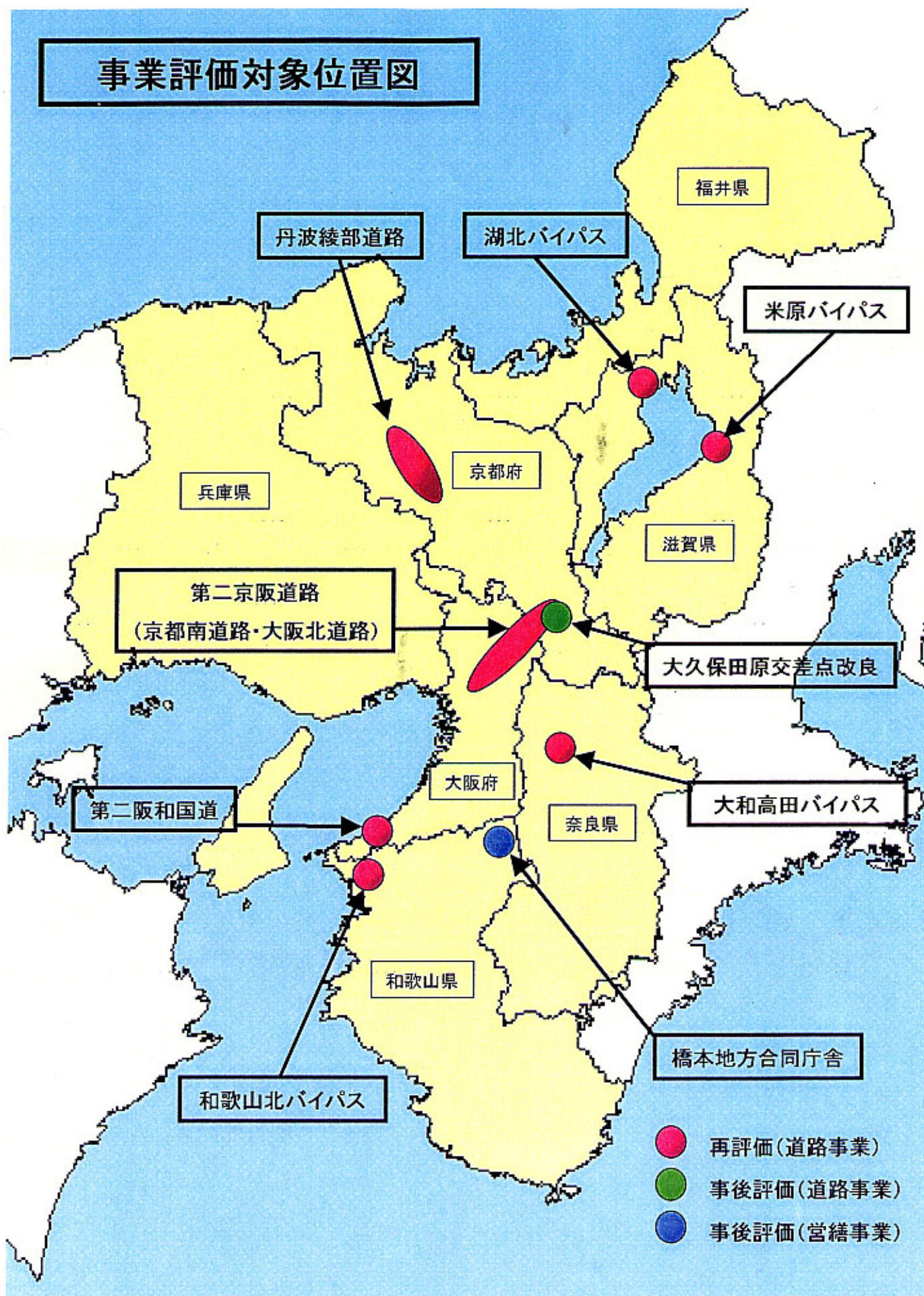
道路事業

No.	路線番号	事業名	府県市名	今回審議箇所
一般改築				
1	24	大久保田原交差点改良	京都府	○

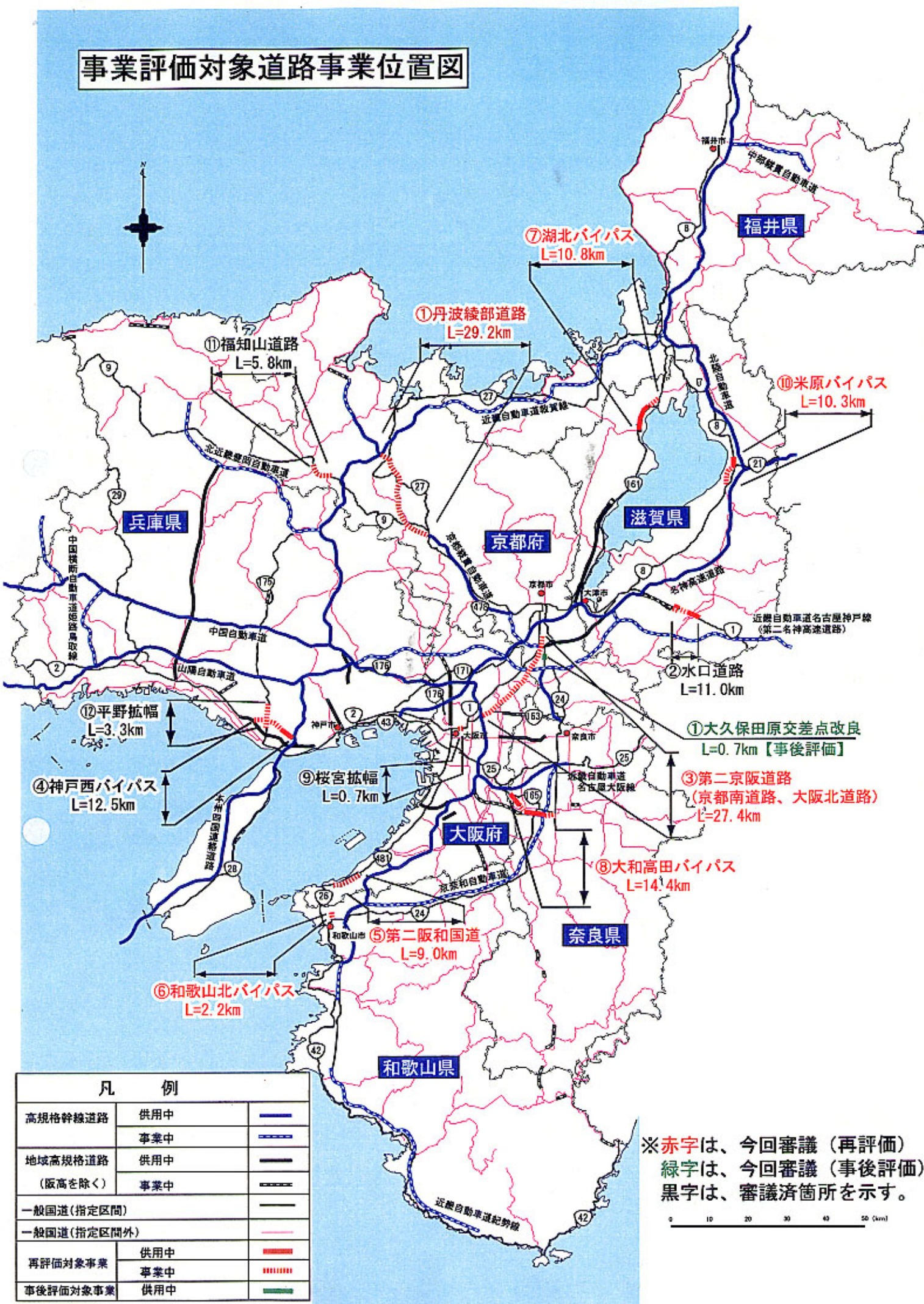
営繕事業

No.	種別	事業名	府県市名	今回審議箇所
1	地方合同	橋本地方合同庁舎	和歌山県	○

事業評価対象位置図



事業評価対象道路事業位置図



凡 例

高規格幹線道路	供用中	——
	事業中	——
地域高規格道路 (阪高を除く)	供用中	——
	事業中	——
一般国道(指定区間)		——
一般国道(指定区間外)		——
再評価対象事業	供用中	——
	事業中	——
事後評価対象事業	供用中	——

※赤字は、今回審議（再評価）
 緑字は、今回審議（事後評価）
 黒字は、審議済箇所を示す。

0 10 20 30 40 50 (km)

事業再評価を実施する事業の一覧表（道路事業）

事業再評価対象箇所に関するデータ一覧表

No.	該当 項目 ※1	都道府 県名	事業 種別 ※2	路線 番号	箇所名	事業概要	事業 延長 (km)	事業化 年度	都市計画 決定又は 変更年度	用地 着手 年度	工事 着手 年度	供用済 み延長 (km) ※3	全体 事業費 (億円)	事業 進捗率 ※4	事業をとりまく社会状況等	事業の状況及び今後の見通し	コスト削減や代替案 立案等の可能性	地方公共団体の要望等	B/C	対応方針 (事務局案)
○高規格幹線道路																				
1	②	京都	高	478	丹波篠山道路	・地域の活性化 ・物流の効率化 ・リダンシーの確保	29.2	H5	H6	H8	H9	H14(予定) 2.6	2,100	12% (19%)	・第4次全国総合開発計画(昭和67年6月) ・北近畿地方拠点都市整備アクションプログラム (平成7年度～平成16年度)(平成6年8月) ・新京都府総合計画(平成13年度～平成22年度) (平成13年1月) ・舞鶴港が日本海側港湾で初のF.A.Z.(輸入促進地域)指定 (平成7年3月) ・異常気象時通行規制区間	・用地買収及び工事推進中 ・平成14年度末部分供用予定 (篠山JCT～篠山安国寺IC間)	・周辺の環境保全とともに、新技術の積極的な活用、設計段階でのコスト削減を検討のうえ実施に努める。	京都府：事業促進 京都市：事業促進 亀岡市：事業促進 篠山市：事業促進 宮津市：事業促進	2.2	事業継続
○地域高規格道路																				
2	④	滋賀	地高	1	水口道路	・交通混雑の緩和 ・快適で安全な歩行空間の確保 ・地域の活性化	11.0	S41 (S63工区延伸)	S61	S45	S46	(S51 ～H13) 7.4 H5 ～H6) (5.7)	370	62% (66%)	・T9=26,715台/日 T11=26,948台/日 ・主要渋滞ポイント 三雲西交差点 ・滋賀県総合交通ネットワーク(平成2年6月) ・滋賀県広域道路整備基本計画(平成6年1月) ・滋賀県南部地域21世紀活力圏創設事業(平成10年6月) ・滋賀県長期構想「新・湖国ストーリー2010」(平成9年2月) ・公園混雑、用地買収難航 ・土地区画整理事業と一体整備	・用地買収及び工事推進中	・周辺の環境保全とともに設計段階でのコスト削減を検討のうえ実施に努める。	水口町：事業促進 甲西町：事業促進	3.3	事業継続
3	④	京都・大阪	地高	1	第二京阪道路(京都南道路・大阪北道路)	・交通混雑の緩和 ・交通安全の確保 ・地域の活性化	27.4	S58	H2, H3(大阪府域) S60(京都府域)	S60	S63	(H15春予定) 10.5	8,700	50%	・T9=87,009台/日 T11=90,269台/日 ・主要渋滞ポイント 第二神明子線付近 ・関西文化学術研究都市関連 ・周辺土地区画整理事業と一体整備 ・環境面から一部地元住民の理解が得られない ・全線にわたり埋蔵文化財あり ・関係地権者が多く用地買収に時間を要している	・用地買収及び工事推進中 ・平成15年春部分供用予定(巨勢池北IC～枚方北IC間) ・平成10年代後半全線供用目標	・周辺の環境保全とともに、新技術の積極的な活用によりコスト削減に努める。	京都府：事業促進 大阪府：事業促進 京都市：事業促進 久御山町：事業促進 八幡市：事業促進 京田辺市：事業促進 枚方市：事業促進 交野市：事業促進 寝屋川市：事業促進 門真市：事業促進 守口市：事業促進	2.2	事業継続
4	④	兵庫	地高	2	神戸西バイパス	・交通混雑の緩和 ・地域の活性化 ・リダンシーの確保	12.5	S63	S62	H1	H3	(H10) 5.6	1,900	68%	・T9=109,869台/日 T11=108,058台/日 ・主要渋滞ポイント 第二神明子線付近 ・ひょうご21世紀交通ビジョン(平成7年10月) ・全県ビジョン推進策(平成14年3月) ・第4次神戸市基本計画(平成7年10月) ・明石市第4次長期総合計画(平成13年3月) ・公園混雑、埋蔵文化財が点在	・用地買収及び工事推進中	・周辺環境保全とともに、新技術の積極的な活用、建設発生土の事業区間内利用等による有効活用によりコスト削減に努める	兵庫県：事業促進 神戸市：事業促進	4.0	事業継続
5	④	大阪	地高	26	第二阪和国道	・交通混雑の緩和 ・交通安全の確保 ・地域の活性化	9.0	S63	S62	H5	H8	(H15春予定) 4.5	710	56% (68%)	・T9=27,157台/日 T11=25,995台/日 ・主要渋滞ポイント 鳥取交差点 ・阪南丘陵各種開発関連 ・大阪府の再生・元氣増進プラン(平成12年12月) ・大阪府都市基盤整備中期計画(案)(平成13年3月) ・阪南市総合計画(平成13年3月) ・第3次堺市総合計画(平成12年3月) ・環境面から一部地元住民の理解が得られない	・工事推進中 ・平成15年春部分供用予定(阪南市自然田～稲作ランプ間) ・平成16年夏部分供用目標(稲作ランプ～稲ノ浦ランプ間) ・平成10年代後半全線供用目標	・周辺環境保全とともに、新技術の積極的な活用、建設発生土の事業区間内利用等による有効活用によりコスト削減に努める	大阪府：事業促進 阪南市：事業促進 堺市：事業促進 堺市他第二阪和国道間 連6市2町村：事業促進	2.3	事業継続
6	④	和歌山	地高	26	和歌山北バイパス	・交通混雑の緩和 ・交通安全の確保 ・地域の活性化	2.2	S63	S62	H2	H8	(H15春予定) 2.2	450	79%	・T9=48,357台/日 T11=55,011台/日 ・主要渋滞ポイント 紀ノ川大橋他4ヶ所 ・和歌山県長期総合開発(平成9年度～平成22年度)(平成10年2月) ・和歌山市長期総合計画「わかやまみらい構想」(平成9年度～平成22年度)(平成9年6月)	・工事推進中 ・平成15年春供用予定(J.R交差点暫定形)	・周辺環境保全とともに、新技術の積極的な活用、建設発生土の事業区間内利用等による有効活用によりコスト削減に努める	和歌山県：事業促進 和歌山市：事業促進 海南市：事業促進	1.6	事業継続
7	④	滋賀	地高	161	湖北バイパス	・交通混雑の緩和 ・交通安全の確保 ・沿道環境の改善 ・冬季の円滑な交通の確保	10.8	S48	S51	S48	S53	(S55～H13) 8.3	280	71% (96%)	・T9=12,947台/日 T11=14,219台/日 ・滋賀県総合交通ネットワーク構想(平成2年6月) ・滋賀県広域道路整備基本計画(平成10年6月) ・滋賀県長期構想「新・湖国ストーリー2010」(平成9年2月) ・用地買収難航	・調査設計推進中	・周辺環境保全とともに、新技術の積極的な活用によりコスト削減に努める	今津町：事業促進 マキノ町：事業促進	1.9	事業継続
8	④	奈良	地高	165	大和高田バイパス	・交通混雑の緩和 ・快適で安全な歩行空間の確保 ・地域の活性化	14.4	S43	S61	S47	S48	(S54～H14) 10.8	910	84%	・T9=32,549台/日 T11=30,632台/日 ・主要渋滞ポイント 曲川東交差点他3ヶ所 ・奈良県新総合計画(平成8年3月) ・なら・平日交通圏道路網構想(平成5年7月) ・奈良県中地方拠点都市地域基本計画(平成6年3月) ・富田町都市計画マスタープラン(平成7年3月) ・埋蔵文化財あり ・用地買収難航	・用地買収及び工事推進中 ・平成15年度部分供用予定(橿原市域本線部)	・周辺環境保全とともに、新技術の積極的な活用、建設発生土の事業区間内利用等による有効活用によりコスト削減に努める	奈良県：事業促進 橿原市：事業促進 大和高田市：事業促進 香芝市：事業促進 御所市：事業促進 富田町：事業促進 新庄町：事業促進	2.1	事業継続
○一般改善																				
9	④	大阪	2次	1	板倉越橋	・交通混雑の緩和 ・快適で安全な歩行空間の確保 ・地域の活性化	0.7	S63	S25	S63	H11	(H12) 0.2	290	72%	・T9=49,809台/日 T11=46,872台/日 ・主要渋滞ポイント 東野田交差点、東天満交差点 ・重要文化財あり ・J.R東西線との事業調整 ・橋梁の点検を市民アンケートに基づき決定	・用地買収完了、平成18年度全線供用に向け工事推進中	・新技術の積極的な活用等によりコスト削減に努める	大阪市：交通渋滞の緩和、災害に強い街づくりを進めるうえで整備すべき路線	1.7	事業継続
10	④	滋賀	2次	8	米原バイパス	・交通混雑の緩和 ・交通安全の確保 ・冬季の円滑な交通の確保	10.3	S41	S48	S42	S45	(S52 ～S61) 2.4 (H11) (2.0)	520	50% (59%)	・T9=21,767台/日 T11=20,068台/日 ・主要渋滞ポイント 入江交差点 ・滋賀県総合交通ネットワーク構想(平成2年6月) ・滋賀県広域道路整備基本計画(平成10年6月) ・滋賀県長期構想「新・湖国ストーリー2010」(平成9年2月) ・埋蔵文化財あり ・軟弱地盤対策検討に時間を要している	・用地買収及び工事推進中 ・平成15年度部分供用予定(7工区)	・新技術の積極的な活用等によりコスト削減に努める	滋賀県：事業促進 彦根市：事業促進 米原町：事業促進 近江町：事業促進	2.0	事業継続

No.	該当 項目 ※1	計画 年度 ※2	事業 種別 ※3	路線 番号	箇所名	事業概要	事業 延長 (km)	事業化 年度	都市計画 決定又は 変更年度	用地 着手 年度	工事 着手 年度	供用済 み延長 (km) ※3	全体 事業費 (億円)	事業 進捗率 ※4	事業をとりまく社会状況等	事業の状況及び今後の見通し	コスト縮減や代替案 立案等の可能性	地方公共団体の要望等	B/C	対応方針 (事業廃止)
11	④	京都	2次	9	福知山道路	・交通混雑の緩和 ・快適で安全な歩行空間の確保 ・地域の活性化	5.8	S53	S56	S56	S59	計 1.9	530	61% (68%)	・19=21,783台/日 111=22,511台/日 ・主要渋滞ポイント 東端交差点、自衛隊下交差点 ・北近畿地方拠点都市地域整備アクションプログラム (平成7年度～平成16年度) (平成6年8月) ・新京都府総合計画(平成13年度～平成22年度) (平成13年1月) ・区画整理事業と一体整備 ・用地買収難航	・用地買収推進中	・発生土の有効活用等によりコスト縮減に努める	福知山市：事業促進	3.5	事業継続
12	④	兵庫	2次	175	平野拡張	・交通混雑の緩和 ・沿線環境の改善 ・快適で安全な歩行空間の確保 ・地域の活性化	1.3	S58	S58 (S63一部区域 変更)	S59	S63	計 0.0	130	62%	・19=41,963台/日 111=35,654台/日 ・主要渋滞ポイント 平野町交差点 ・第4次神戸市基本計画(平成7年10月) ・神戸市復興計画(平成7年6月) ・兵庫2001年計画仕上げの方策(平成11年3月) ・地域戦略プラン(平成11年6月) ・公園混雑、用地交渉難航 ・埋蔵文化財有り	・用地買収完了、工事推進中	・新技術の積極的活用等により、コスト縮減に努める	兵庫県：事業促進 神戸市：事業促進	2.3	事業継続

※1.《再評価該当項目》①事業採択後5年間を経過した未着工事業
②事業採択後10年間を経過し一部供用を含め継続中の事業
③事業採択後の準備・計画段階で5年間を経過している事業
④再評価実施後5年間を経過している事業
⑤上記に該当しないが事業の進捗状況、地元情勢、社会的状況等により再評価の必要がある事業(備考欄に理由を記入)

※2.《事業種別》高規格：高 地域高規格：地高 一般1次改善：1次 一般2次改善：2次
※3.《供用済み延長》これまでに暫定及び完成供用した延長で、延長の() 書きは暫定供用区間の4車線化延長
※4.《事業進捗率》事業費に対する進捗率で() 書きは暫定事業費に対する進捗率

注)「事業の状況及び今後の見通し」欄の供用目標については、用地の進捗が順調に進んだ場合のものである。また、五箇年内の供用目標には部分供用を含む。
注)一部供用済事業箇所B/Cについては、供用区間以外の残区間で費用便益を算定したものである。